

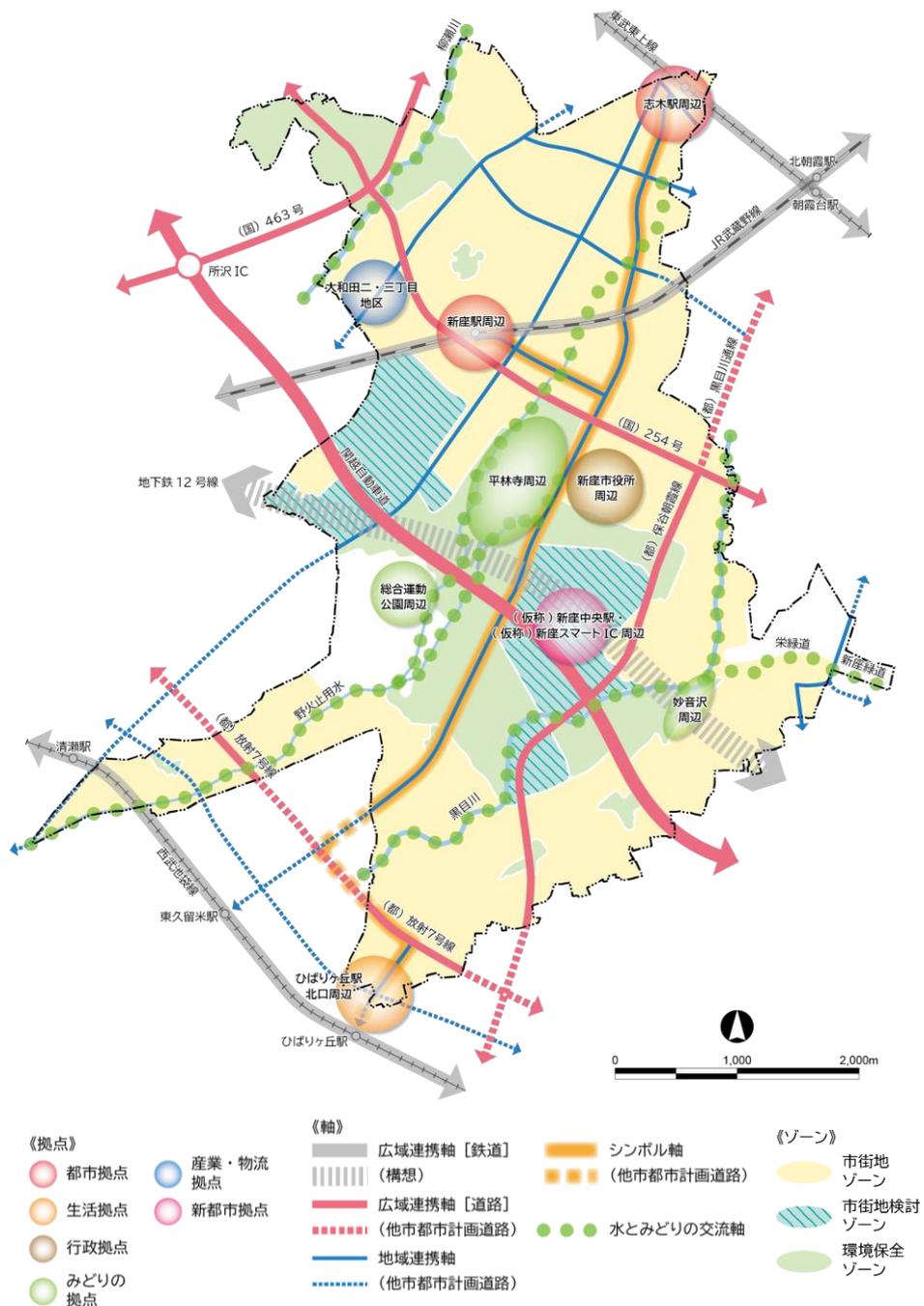
# 資料3 目指すべき都市の骨格構造について

## (1) 目指すべき都市の骨格構造

都市計画マスタープランでは、志木駅周辺及び新座駅周辺を都市拠点、市役所周辺を行政拠点、ひばりヶ丘駅周辺を生活拠点とし、東久留米志木線等の都市計画道路をシンボル軸と位置付けています。

立地適正化計画については、都市計画マスタープランと一体的なものとして作成することが求められているため、本計画でもこの考え方を基本とします。

■ 将来都市構造図



## (2) 各拠点における誘導区域の設定

都市計画マスタープランで定めている都市拠点（志木駅周辺及び新座駅周辺）、行政拠点（新座市役所周辺）、生活拠点（ひばりヶ丘駅北口周辺）について、その立地特性や都市機能の集約性を踏まえ、本計画においては以下のように誘導区域を設定します。

拠点名	拠点の概要	各拠点の特性	区域設定の方向性
<b>都市拠点</b> 志木駅 周辺	東武鉄道志木駅を中心とする一帯。多くのバス路線の発着点である。多くの市民が利用する公共施設や病院、銀行、大型商業施設が集積している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉄道駅周辺</li> <li>・ 特に高い人口密度</li> <li>・ 都市機能の集積</li> <li>・ 生活利便施設の立地</li> <li>・ 基幹的公共交通の結節点</li> <li>・ 都市基盤の充実</li> </ul>	都市機能誘導区域 + 居住誘導区域
<b>都市拠点</b> 新座駅 周辺	J R新座駅を中心とする一帯。多くのバス路線の発着点である。広域幹線道路である国道254号の沿道にあり、複合公共施設や商業施設、福祉施設等が集積している。また、駅北側では区画整理事業が進められている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉄道駅周辺</li> <li>・ 高い人口密度</li> <li>・ 都市機能の集積</li> <li>・ 生活利便施設の立地</li> <li>・ 基幹的公共交通の結節点</li> <li>・ 都市基盤の充実</li> </ul>	都市機能誘導区域 + 居住誘導区域
<b>行政拠点</b> 新座 市役所 周辺	市役所庁舎や市民会館、中央図書館など行政・文化施設が集積する。多くのバス路線が通っており、特ににバス全てのコースの乗り継ぎ地点となっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高い人口密度</li> <li>・ 都市機能の集積</li> <li>・ 生活利便施設の立地</li> <li>・ 公共交通の結節点</li> </ul>	都市機能誘導区域 + 居住誘導区域
<b>生活拠点</b> ひばりヶ 丘駅北口 周辺	主だった施設が集積はないものの、西武鉄道ひばりヶ丘駅に近接していることから、将来的にも人口密度が高い状況が見込まれる。市を縦断する幹線のバス路線が通る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉄道駅周辺</li> <li>・ 特に高い人口密度</li> <li>・ 生活利便施設の立地</li> <li>・ 都市基盤の充実</li> </ul>	居住誘導区域のみ